

起振車で地震を体験！

十一月二十七日、児童たちは谷川小学校で震度7まで体験できる起振車に乗り込み、大地震の揺れを体験しました。起振車はトラックの荷台に、部屋を想定して作られていて、その中で地震の揺れを体験できるようになっています。「実際に乗って体験したら思った以上に揺れが激しくて、突然、大きな地震に襲われたら、パニックになってしまうと思います。今日、体験したことが多少役に立つ気がします」。初めて震度7を経験した児童は改めて地震の怖さを感じた様子でした。



元気に大きく育ってね！

ヤマメ放流

十二月二日、町内の河川に小・中学校八校の協力を得てヤマメ約120kgの放流が行われました。

ヤマメを放流することにより子どもの健全育成と環境への関心を持つってもらうことを目的に、町PTA連絡協議会の依頼を受けて町が毎年実施しているものです。

ヤマメは、冷たく、澄んだ溪流に生息するサケ科の魚。『ヤマメはきれいな川にすんでいる虫を食べ成長します。川を汚さないようにしましょう』と担当職員からの説明の後、児童たちは、「元気に育ってね」と泳いでいくヤマメに声をかけて放流していました。



ひばり幼稚園で餅つき

十二月十五日、ひばり幼稚園で餅つきが行われました。

子どもたちはキネの重さにふらふらしながら、元気いっぱいにもちつきを楽しみました。もちつきの後は、みんなですきたてのもちをほおばり、ひと足早いお正月気分を味わっていました。



「人生の教科書」と題し

古賀稔彦さん講演！

十二月二十一日、町馬頭総合福祉センターを会場に馬頭中、馬頭東中二年の生徒ら約二百名を対象に、バルセロナ柔道金メダリスト古賀稔彦さんのキャリア教育講演会が行われました。

古賀さんは、「あきらめからは決して何も生まれません。ピンチを切り抜けていくと、待っているのは前よりずっと成長した自分なのです。みなさん、自分の夢に向かって諦めず一生懸命頑張ってください」と講演されました。

参加した生徒は、「自分の夢に向かって頑張っていく素晴らしい話を聞くことができ感激しました」と話してくれました。



お礼の言葉を述べた内田さんと握手

十二月四日、まほろばゆうゆう園小川を発着点に「第三回まほろばの里歩け歩け大会」が開催されました。ひとりスポーツ推進の底辺拡大を図ることや幅広い年齢層の方に気軽に参加してもらおうと「みんなで歩こうまほろばの里」を大会テーマとして、初心者（六キロ）、標準（九キロ）、熟練（十二キロ）の三コースに二百三十四名が参加しました。那珂川堤防沿いを歩いたり、国指定史跡「那須官衙跡」などを巡り、古代文化の里をそれぞれのペースで歩きました。

また、浄法寺大日堂では、文化財愛護協会長の福嶋正さんから大日堂について説明を受け、小川の歴史を学びました。

第三回まほろばの里 歩け歩け大会



親子ふれあいコンサート

十二月十七日、まほろばゆうゆう園小川あじさいホールで「親子ふれあいコンサート」が開催されました。このコンサートは、まほろば子育て応援団やヤングボランティアクラブのメンバーが親子で音楽を楽しんでもらおうと計画したもので、保育も行うというものです。

藤田教育長は「親と子のきずなが人間の人格を形成するうえで非常に大切。今日は楽しいひとときを過ごしてほしい」とあいさつ。

約二百名の観客は中澤淑江さんの歌やチカパンさんのパントマイムを楽しみました。



客席でパントマイムを披露するチカパンさん

馬頭小川ロータリークラブが 車いすを寄付

十二月一日、馬頭総合福祉センターで馬頭小川ロータリークラブによる車いすの贈呈式が行われました。

この車いすは、会員が馬頭健康福祉まつりで得た不用品バザー収益金で購入したもので、馬頭町社会福祉協議会へ二台寄付されました。

会長の長谷川直弘さんは、「介護者の負担を軽減するため、ひじ掛けがはね上がるタイプの車いすを選びました。障害のある方に、活用してもらえれば」と話していました。



ハンドメイドおがわ フェスティバル

十二月十一日、ふるさとの森公園内の匠の館（なみの）で第十四回ハンドメイドおがわフェスティバルが開催されました。

「ハンドメイドおがわ」は手作りの作品を安価で提供しようとする組織したグループで、フェスティバルは今年で十四回目になります。

パッチワークのバックや焼き物、手作りまんじゅうなどを買い求めるために、町内外からたくさんの方が訪れ、にぎわいました。

